

中期経営計画 2026

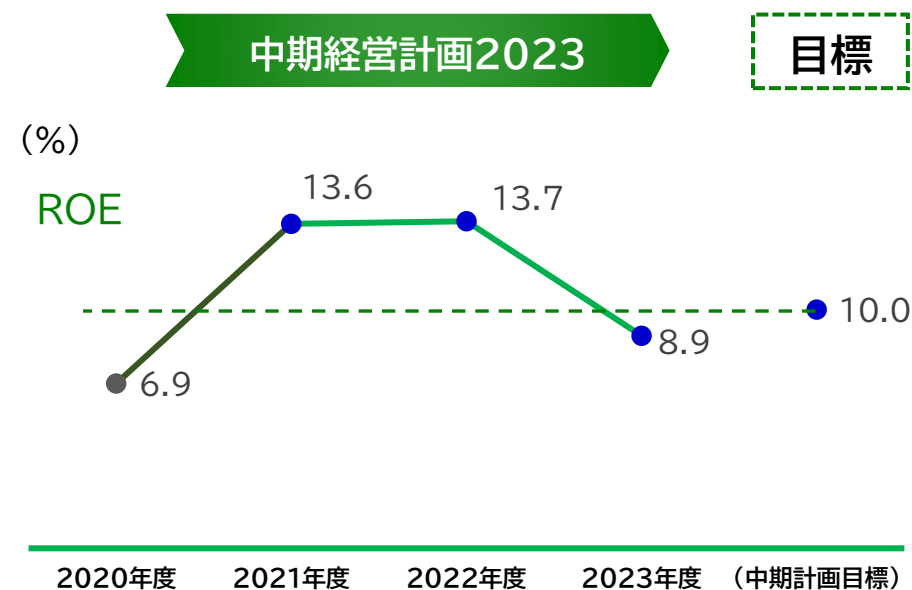
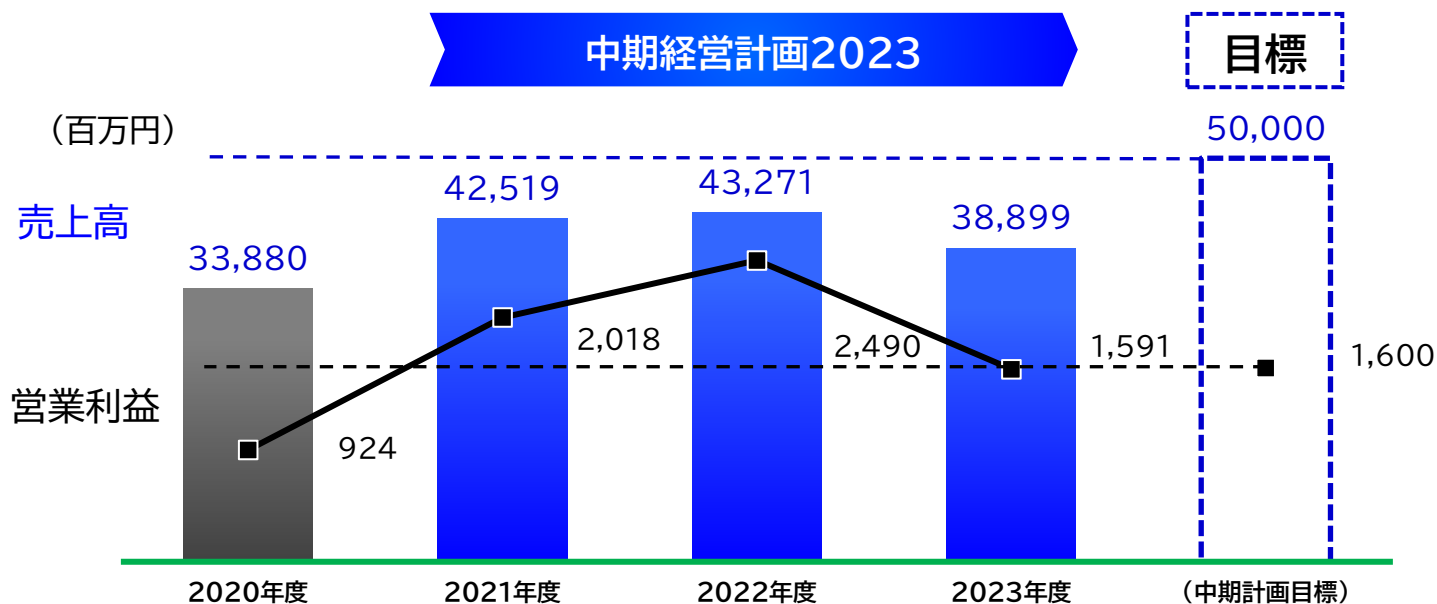
2024年7月5日

 **三井子産業株式会社**
MITACHI CO.,LTD.

1 前中期経営計画の振り返り

■業績の総括(中期経営計画2023)

- 売上高は、2021年度、2022年度で伸長をしたものの、2023年度は産業機器、民生分野、半導体需給の緩和による受注減少などもあり、経営目標の500億円は未達
- 営業利益は、2021年度、2022年度は目標値の16億円を上回ったものの、2023年度は僅かに目標未達
- ROEは、2021年度、2022年度は目標値の10%を上回ったものの、2023年度は目標未達



2 前中期経営計画の振り返り

■重点施策の主な取組実績・総括

基盤ビジネスの強化・拡大

各施策	中期経営計画2023での取組み実績
自動車分野、産業機器分野での取組強化	自動車分野 売上高 : 202億円(2020年度)→203億円(2023年度) 産業機器分野 売上高 : 26億円(2020年度)→ 27億円(2023年度)
EMS※事業の強化・拡大	ユニット・アセンブリ売上高 : 70億円(20年度)→ 77億円(23年度)
グローバルネットワークの強化	アメリカ合衆国ミシガン州に営業拠点を新設し活動を開始(2023年11月新設)
協業、M&Aの活用による強化	デジタル分野をはじめとし、外部企業との協業・提携を実施

*EMS:Electronics manufacturing service(電子機器受託製造サービス)

新規顧客・新規事業での成長

各施策	中期経営計画2023での取組み実績
新規顧客の獲得 新規市場への参入	自動車分野での新規販売ルートの構築や、自治体との新規取引を開始
社会課題の解決事業への取組 IoT領域での事業拡大 課題解決型の開発力の強化	自治体向け事業に参入 (Snow Pallet“積雪深自動モニタリングシステム”の開発・販売) 飲酒運転撲滅への貢献 (アルポーター“飲酒検知・通知管理システム”の開発・販売) 詳細 当社ホームページ https://www.mitachi.co.jp/business/iot/

3 前中期経営計画の振り返り

■重点施策の主な取組実績・総括

仕入先との協業強化

各施策	中期経営計画2023での取組み実績
仕入先と一体となった営業活動	仕入先との協同での積極的な営業活動 デジタルツールを併用した、商材情報の発信力を強化
国内・海外商材の拡充	中華圏をはじめとし、半導体・電子部品等の商材を拡充 DX関連商材の拡充

経営基盤の強化

各施策	中期経営計画2023での取組み実績
ガバナンスの維持・強化	監査等委員会設置会社での監督・監視体制の継続 リスク管理の強化（コンプライアンス、セキュリティ、BCP、サステナビリティへの取組等）
グローバルでの人財育成	従業員の教育体制、スキルアップ・資格取得の支援制度を拡充
人事制度と働き方の改革	デジタルツールの利点を活かした働き方の改革 従業員アンケートを活用したエンゲイジメント向上施策を実施
健康経営の推進	4年連続、健康経営優良法人(大規模法人部門)の認定、健康保険組合 銀の盾の認定
DXの推進	経済産業省からDX認定 当社ホームページ https://www.mitachi.co.jp/company/dx/

4 前中期経営計画の振り返り

■株主還元の総括(中期経営計画2023)

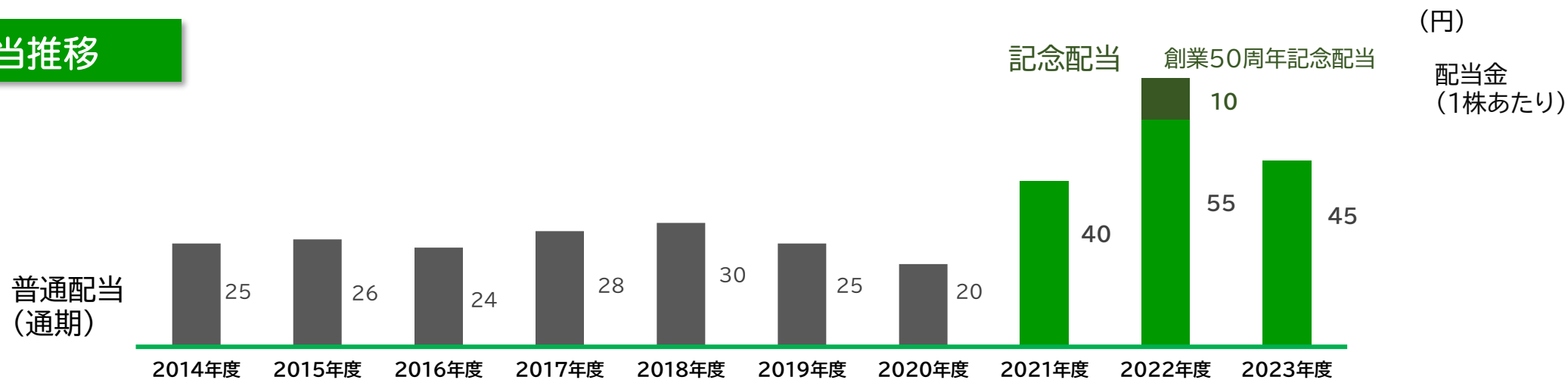
株主還元

	(2020年度)	2021年度	2022年度	2023年度
配当金(1株当たり)	20.0円	40.0円	65.0円※1	45.0円※2
1株当たり純利益	84.14円	184.86円	212.87円	153.52円
配当性向	23.8%	21.6%	30.5%	29.3%※2

※1.2022年度 創業50周年 記念配当金10円含む

※2.2023年度の期末配当金・配当性向については、2024/8/23開催の定時株主総会での承認を前提とした記載としております。

配当推移



中期経営計画2023

中期経営計画2026
(2024年度から2026年度)

<目指す姿>

感動の架け橋

<経営理念>

- 顧客第一主義
- 人間尊重
- 一流へのチャレンジ
- 創造的革新
- 企業の社会的貢献

<当社の精神>

- 三つ(お客様-当社-仕入先様)で立つ“ミタチ”
- お客様のお困りごとを解決しよう
- ミタチ“産業”の産業に込めた挑戦と発展

あらたなステージへ

新中期経営計画
重点施策

健全な経営基盤の維持・強化
経営資本の最大活用、ガバナンスの維持・強化

基盤ビジネスの強化・拡大
対応レベル向上&領域拡大

中期経営計画2026

新たな収益基盤の創出
エレクトロニクスとデジタル技術をコアとした
収益基盤の創出

2026年度経営目標

売上高
1,000億円

営業利益
30億円

ROE
10%

6 新中期経営計画の重点施策

■新中期経営計画の経営目標(中期経営計画2026)

基盤ビジネスの強化・拡大

当社グループの基盤である事業分野において、営業・生産活動と機能・拠点の強化を行い、売上と利益の規模・事業領域を拡大し、収益基盤の強化を図ります。

重点施策

- モビリティ分野での取組強化
- 産業機器分野をはじめとした、自動化・省人化・効率化領域での取組強化
- 民生・アミューズメント分野での、市場環境の変化に適応した取組
- EMS+周辺領域の対応による、統合型ものづくりプロバイダーへの進化
- 仕入先と一体となった営業活動
- グローバルネットワークの強化による対応力の強化
- 協業、M&Aの活用による成長の加速

7 新中期経営計画の重点施策

■新中期経営計画の経営目標(中期経営計画2026)

新たな収益基盤の創出

“MONOもKOTOも”のスローガンのもと、エレクトロニクスとデジタル技術をコアとした新たな価値提供によるビジネスモデルの構築と、収益基盤の創出をすすめていきます。

重点施策

- お客様への複合的なサービス提供によるビジネス領域の拡大
- お客様課題の解決を実現するための技術力・開発力の強化
- お客様満足を目的とした、新しい商社機能の探求と確立
- 社会的価値と経済的価値が両立する新規事業の創出と展開
- 協業、共創、M&Aによる成長の加速
- グローバルレベルでの取扱い商材の拡充
- リアル、デジタルを活用した新規顧客の獲得

8 新中期経営計画の重点施策

■新中期経営計画の経営目標(中期経営計画2026)

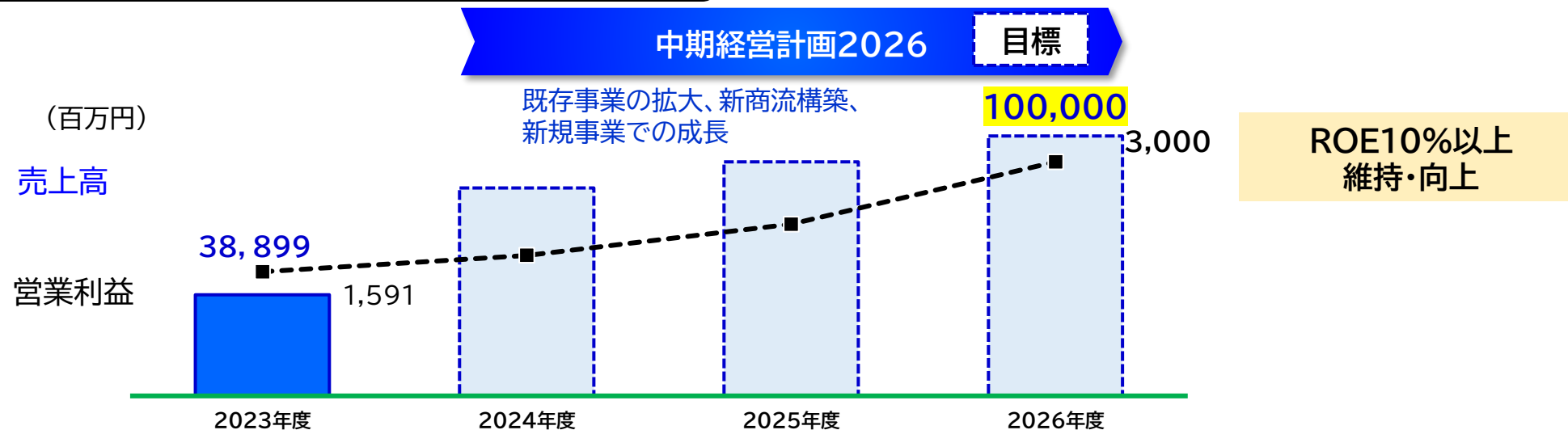
健全な経営基盤の維持・強化

経営理念の実践により培ってきた経営資本の強化と、従業員・組織がよりいっそうやりがいを持ち活躍できる環境をつくり、経営基盤を維持・強化し、経営の品質を高めていきます。

重点施策

- 財務健全性の継続的な向上
- グループ視点での人的資本への投資、まなびたがる組織への仕組づくり
- 経営理念をもとにした、文化・精神・ナレッジ・ノウハウの確かな人的、組織的継承
- 健康経営の推進
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 品質の維持・向上と問題の未然予防
- ガバナンスの維持・強化
- 経営リスクの管理とレジリエンス強化

売上高・営業利益・ROE目標



財務方針

成長性、安全性、効率性をバランスし、健全で持続的な企業価値の向上を目指す

■資金・資本政策

- ・成長を支える、安全かつ効率的な資金の確保と活用
- ・健全な財務体質の維持・向上
- ・資本効率を意識した経営活動

株主還元の方針

長期的視点での財務体質と経営基盤の強化に努め、安定的な配当に配慮するとともに、業績に裏付けされた利益配当基本とする。
連結配当性向は30%程度を目安とする



お客様

当社

仕入先様

ミタチ産業の社名は三つで成り立つ

(お客様-当社-仕入先様)

という三位一体の精神に由来しております。



ローマ帝国時代に生命をつなぐ水を運ぶ大切な使命を果たした「ガールの水道橋」。2000年の時を超えて往時の卓越した技術力を今に伝えるこの橋をモチーフに当社のシンボルマークは生まれました。そこには「いつまでもお客様と仕入れ先様をつなぐ架け橋でありたい」という思いが込められております。

経営理念

顧客第一主義

満足を得た顧客こそビジネス最大の源泉。
お客様の満足が自社の繁栄につながっている経営を行う。

人間尊重

従業員が会社の宝であり財産。
お互いに自己を尊重すると同時にあらゆる他人をも尊重する。

一流へのチャレンジ

開かれた近代経営を行い、永遠の企業発展を目指す。

創造的革新

現状に満足せず、常に問題意識をもって自己を厳しく見つめ、
絶え間ない変革を遂げていく。

企業の社会的貢献

ボランティア、メセナ等で社会に貢献していくことは必要であるが、当社において最も大切な貢献は、每期利益をあげて税金を納め続けること。そして、社会のルールを守り他人に迷惑を掛けない事業を行うこと。

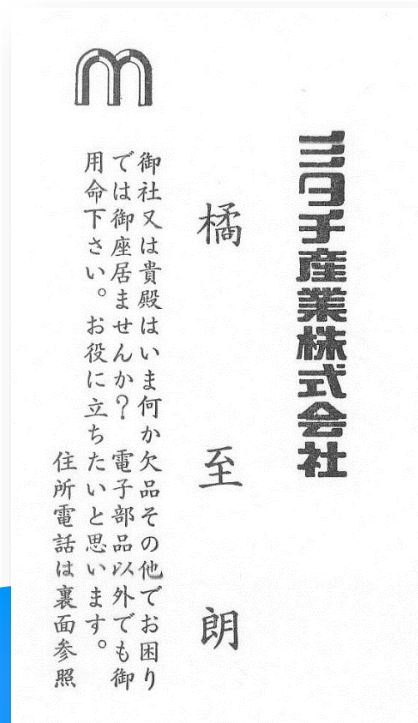
原点・原動力

「お客様のお困りごとを解決しよう！」

という熱き思いがミタチ産業の原点・原動力です。

ミタチ産業の「**産業**」は、お客様への貢献を目的としたあらたな産業への挑戦により、継続的な企業発展を目指していくという意味が込められています。

創業当時の 名刺



◆将来予想について

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入社可能な情報および、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれ、その実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なることがあります。

また法令等で別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来の見通しも最新のものとする義務を負いません。

IR資料室



ホームページ



お問い合わせに関する窓口

 **三ツ子産業株式会社**

経営企画室

TEL : 052-332-2596

ホームページ <https://www.mitachi.co.jp>